

## 小腸カプセル内視鏡検査の説明と同意書



### 【はじめに】

カプセル内視鏡とは、幅 11mm 長さ 26mm のカプセル型で、自分で口から飲み込み、通過する消化管(主に小腸)を撮影することができる内視鏡です。カプセル内視鏡を用いた小腸検査はバリウムを用いた造影検査や電子スコープを用いた内視鏡検査より患者さんの苦痛や不快感が少ないのが特徴であり、より詳細に小腸全体を観察することができます。

撮影された画像は腰に取り付けたデータレコーダに保存されます。カプセル内視鏡は使い捨てタイプで排便時に自然に排出されます。検査のための入院は必要なく世界中の国々で使用されています。

カプセルを飲めない方や電気医療機器が埋め込まれている方には使用できません。

### 【検査方法】

検査 1 週間前から鉄剤内服があれば中止にしてください。便秘の方は下剤内服や検査前日の検査食摂取を勧めます。

検査前日：検査前日から禁煙、20 時から絶食をお願いします。透明な水分の摂取は可能です。

検査当日：検査当日 6 時に普段の内服薬を飲んでください。

検査室でセンサアレイ・レコーダを装着し、カプセル内視鏡を飲み込みます。その後、帰宅してもらいます。

飲水は 2 時間後から、軽い食事は 4 時間後から可能です。撮影が終わるとレコーダーのランプが消えます。

検査時間は約 13 時間です。ランプが消えたらレコーダーを外し、翌朝検査室へ返却してください。

(センサアレイ・レコーダー・バッテリーは水に濡らさないようにし、丁寧に取り扱いして下さい。)

カプセルは自然排泄されます。回収できれば、メタル製収納袋に入れて持参ください。トイレに流しても問題はありません。

### 【注意事項】

・カプセル排泄が確認されるまでは MRI 検査を受けないで下さい。MRI 検査中にカプセル内視鏡の金属が人体に悪影響を及ぼす可能性があるためです。

・検査中は無線や電子機器など電磁波がある所には近寄らないで下さい。また激しい運動や腰を強く曲げる動作も避けて下さい。

・カプセル内視鏡の排泄が 2 週間経っても確認できない場合は、レントゲン検査などで確認しますので必ず申し出て下さい。

・検査中または検査後に吐き気・腹痛・嘔吐などを催した場合やレコーダーのアラーム音が鳴り続けた場合には連絡ください。

### 【合併症(偶発症)】

合併症としてカプセルが排出されないことがあります。2 週間以上排出されない場合には便秘薬などでカプセル排出の促進をはかります。どうしても排泄されない場合には内視鏡によりカプセルの摘出を行うか、腸閉塞の症状を伴う場合には腹腔鏡手術や開腹手術など外科的処置が必要となります。

上記の内容を理解し同意いたしました。

平成 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 印

### 【連絡先】

センター南駅前 内科おなかクリニック (平日、昼) TEL 045-507-7522

(休日、夜間) 携帯 070-4284-9665